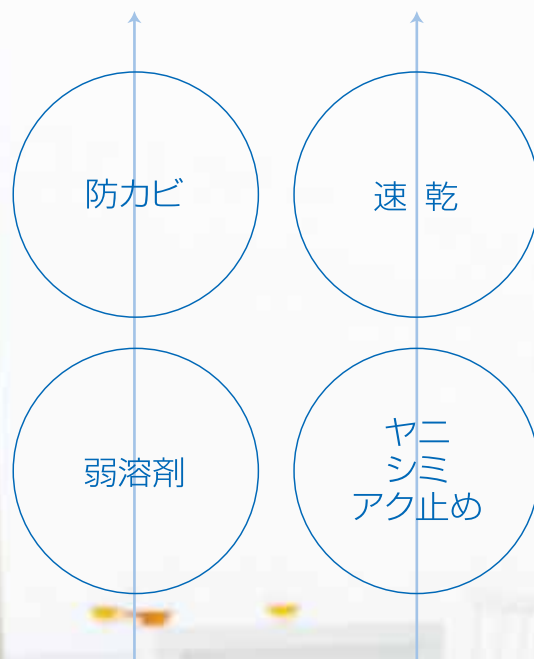


JIS K 5670  
アクリル樹脂系非水分散形塗料

# アレス セラマイルド

## シリーズ

アレスセラマイルド：つや消  
アレスセラマイルド5F：5分つや(非JIS製品)  
アレスセラマイルドグロス：つや有(非JIS製品)



# ALES CERAMILD SERIES

## アレスセラマイルドシリーズの特長

- 1.内外壁いずれも塗装可能。
- 2.つやあり、つや消し、半つや仕上げいずれも可能。
- 3.各種旧塗膜塗り重ね適性あり。(シーラーレス)  
※EP、EP-G、SOP、VE、多彩模様塗料、アクリルリシン、アクリルスタック等
- 4.防カビ・防藻性あり。
- 5.ヤニ・シミ・アク止め効果あり。
- 6.JIS K 5670(アクリル樹脂系非水分散形塗料)表示品。  
(アレスセラマイルド5F、アレスセラマイルドグロスを除く)
- 7.ホルムアルデヒド放散量等級区分F☆☆☆☆。
- 8.速乾性で工期短縮が可能。

## 用途/建築内外装塗替全般

- 内外壁面、天井面上塗り  
(特に浴室、便所など多湿でかびが生じやすい内壁面)
- 鉄扉等、鉄部上塗り

### ■工期短縮

	1日	2日
一般水性仕様	ヤニ止めシーラ	エマルジョンペイント
アレスセラマイルドシリーズ	アレスセラマイルドシリーズ	

## アレスセラマイルドシリーズの性能・仕様

### ■塗膜性能 ▶他の塗料との比較

試験項目		アレスセラマイルドシリーズ	ターベン可溶・NAD形 アクリル樹脂塗料	塩化ビニル 樹脂塗料	エマルジョン塗料
塗膜性能	防カビ性	◎	○	○～△	△～×
	防藻・防苔性	◎	○	△～×	△～×
	ヤニ・シミ押さえ	◎	○	◎	○～×
	温冷サイクル	◎	◎	○	○～△
	耐水・耐アルカリ性	◎	◎	◎	○～△
旧塗膜に対する選択性		○	○	△	○～△
仕上がり性	ローラー、はけむら	◎	○	○～△	◎
	塗り継ぎむら	◎	○	○～△	◎
	T/U性(スカシ評価)	◎	◎	○～△	◎
	トマリ(隠ぺい性)	◎	◎	○	○
	肌	◎	○	○	○
作業性	ローラー、はけ塗り	◎	◎	△	◎
	乾燥性(指触乾燥)	15分	15分	10分	30分

注)表中の評価はあくまでも相対評価であり絶対評価ではありません。

### ■各種素地適性一覧

素地の種類	塗替適性	新設適性
モルタル	◎	◎
コンクリート	◎	◎
PC板	◎	◎
押出成型板	◎	△※1
ケイカル板	◎	△※1
ブロック	◎	△※2
スレート	◎	◎
木毛板	◎	◎
木部	◎	△※3
鉄部	◎	△※4
亜鉛めっき	◎	△※5
硬質塩ビ	×	×
かき落としモルタル	△※1	—
しっくい	△※1	—

### ■各種旧塗膜適性一覧

旧塗膜モルタル	塗り重ね適性
EP	◎
EP-G	◎※6
SOP	◎
VE	◎
AE	◎
多彩模様	◎
アクリルリシン	◎
無機リシン	△※1
アクリルスタック	◎
かび発生面	△※7

- ※1 エポキシシーラー、※2 アレスエアレスフィラー、※3 アクアグランドコート、※4 スーパーザウルスII・ザウルスEXII、※5 スーパーザウルスIIをそれぞれ下塗り塗料として塗してください。
  - ※6 アレスセラマイルドグロス以外は適性不可ですのでご注意ください。
  - ※7 アルコール系除菌剤による除菌処理を必ず行ってください。
  - ※8 表面劣化していない(光沢がある)旧塗膜に塗装する場合は、必ず試験塗装を行い付着性に問題がないことを確認してから本塗装を行ってください。
- 注)硬質塩ビの他陶磁器タイル、塩ビ鋼板、塩ビクロス等は適用不可ですのでご注意ください。

製品名	荷姿	つや	色域	缶内調色
アレスセラマイルド	16kg・4kg	つや消し	淡彩～濃彩	◎(淡彩のみ)
アレスセラマイルド5F	16kg	5分つや	淡彩	◎
アレスセラマイルドグロス	16kg	つや有り	淡彩	◎

### ■品質性能(白及び淡彩)

項目	品質 ※( )内はアレスセラマイルドグロス	試験結果 アレスセラマイルド	
JIS品質性能	容器の中での状態	かき混ぜた時、堅い塊がなく一様になること	合格
	塗装作業性	はけ・ローラー作業に支障がないこと	合格
	塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること	合格
	乾燥時間(半硬化乾燥)	5時間以下	1時間
	隠ぺい率 白及び淡彩	90%以上	98%
	耐水性	水に浸しても異常がないこと	合格
	耐アルカリ性	アルカリに浸しても異常がないこと	合格
その他の性能	促進耐侯性	見本品に比べて差のないこと	合格
	60度グロス	5以下(75以上)	3
	温冷サイクル	10サイクルで異常がないこと	合格
	付着性	5mmゴバン目セロテープ試験	100/100
	JISモルタル板		
JISスレート板			

注)試験条件は、JIS K 5670準拠

### ■標準塗装仕様

工程	塗料・処置	配合量 (重量%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
現地	1 素地調整	浮いた旧塗膜や付着力の低下した旧塗膜は完全に除去し、ゴミ・汚れ等を除去した清浄な面にする。活膜部分は十分な目直しを行う。旧塗膜除去後の素地露出部はPH10以下、水分8%以下まで養生する。				
	2 上塗り(1回目)	アレスセラマイルド	100	0.13~0.15	2時間以上 7日以内	はけ・ローラー エアレス
		アレスセラマイルドグロス 塗料用シンナーA	0~10 5~15			
3 上塗り(2回目)	アレスセラマイルド アレスセラマイルドグロス 塗料用シンナーA	100 100 0~10 5~15	0.13~0.15	—	はけ・ローラー エアレス	

注1)所要量は被塗物の形状や素地・塗装方法・環境などによって増減することがあります。

注2)特に吸い込みの激しい素地に対しては上塗り1回目の前に希釈率を20~30%にしてシーラー代わりに使用ください。

注3)軒天などのリシン面の塗替えに「アレスセラマイルドシリーズ」を使用する場合は、希釈剤「スーパーノンブラ」(297-400)を5%程度希釈して塗装するようにしてください。これにより厚膜部のワレ発生を緩和できます。

### ■施工上の注意事項

1. 気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けてください。また強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
2. かび発生面に塗装する場合は、必ず塗装前に殺菌剤処理を行ってください。
3. 吸い込みが激しい素地に塗装する場合は、1層目のシンナー希釈率を上げてください。
4. 特にアレスセラマイルドははけやローラーで同じ部分を塗り込むと、仕上りむらや光沢むらが生じることがありますのでご注意ください。
5. アレスセラマイルドグロスおよびアレスセラマイルド5Fの上にアレスセラマイルドを塗り重ねると塗膜に割れが生じることがありますのでご注意ください。
6. 異なる色相で塗り重ねる場合、2層目の上塗り時に1層目の色のブリード(色の移行)が発生する場合がありますのでご注意ください。
7. 濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くこすると、色落ちや艶変化が起こる場合があります。
8. 塗料が皮膚に付着した場合は速やかにシンナーで拭き取り水洗いしてください。
9. 素地や旧塗膜の種類によっては別途下塗り塗料が必要な場合があります。別表の各種素地・旧塗膜の適性一覧をご参照ください。
10. 塗装仕様に記載の塗装間隔は、気温23℃の条件を想定しています。低温時や十分な換気ができない場合は、塗装間隔が長くなる場合がありますのでご注意ください。
11. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。

防火認定

認定番号	品目名	通達番号
NM-8585	塗料塗装／不燃材料	国住指第 2100号
QM-9816	塗料塗装／準不燃材料	国住指第 2101号
RM-9364	塗料塗装／難燃材料	国住指第 2102号



ご使用上の注意事項

予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 火気を避けること。
- 静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に濡して処分すること。

対応

- 目に入った場合は、直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

- 吸入した場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に對して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

■詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照下さい。

# 関西ペイント販売株式会社

本社 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1  
TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934

北海道販売部 〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目718-4  
TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

東北販売部 〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町3-40(KSCビル)  
TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073

北関東越前販売部 〒321-0953 宇都宮市東宿郷4丁目2-24(センターズビルディングF)  
TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

松本営業所 〒390-0833 長野県松本市双葉10番22号(双葉ビルB棟2階202号)  
TEL (0263) 26-3377 FAX (0263) 26-3322

新潟営業所 〒950-0088 新潟市中央区万代5丁目7-2(シアース万代 西309)  
TEL (025) 246-3347 FAX (025) 241-9442

前橋営業所 〒371-0804 前橋市六供町1丁目13-1(YK第1ビル)  
TEL (027) 243-0388 FAX (027) 243-0396

東京販売部 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1  
TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

横浜営業所 〒235-0036 横浜市磯子区中原1丁目2-31-204  
TEL (045) 761-7390 FAX (045) 761-7395

川越営業所 〒350-1123 川越市脇田本町13-22(仲ビル5F)  
TEL (049) 243-4351 FAX (049) 243-4356

静岡営業所 〒422-8008 静岡市駿河区東原12-9  
TEL (054) 262-4747 FAX (054) 262-0330

中部販売部 〒460-0007 名古屋市中区新栄1丁目29-25  
TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981

三重営業所 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1804-5  
TEL (059) 397-3313 FAX (059) 397-4887

大阪販売部 〒541-0042 大阪市中央区今橋2丁目6-14  
TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

神戸営業所 〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目1-8(東栄ビル702)  
TEL (078) 367-1281 FAX (078) 367-1283

北陸営業所 〒924-0013 石川県白山市番匠町50-1  
TEL (076) 275-7200 FAX (076) 275-7900

北陸営業所(富山G) 〒930-0004 富山市桜橋通り2-25(富山第一生命ビル)  
TEL (076) 432-0109 FAX (076) 432-0189

中国販売部 〒732-0052 広島市東区光町1丁目12-16  
TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285

岡山営業所 〒700-0972 岡山市北区上中野1-16-2  
TEL (086) 245-9455 FAX (086) 245-9460

四国販売部 〒763-8510 香川県丸亀市土器町北2丁目88  
TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

高知営業所 〒780-8007 高知市仲田町2-28  
TEL (088) 831-1577 FAX (088) 831-2528

九州販売部 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目5-8  
TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

北九州営業所 〒807-0811 北九州市八幡西区洞北町2-10  
TEL (093) 601-1336 FAX (093) 601-1371

熊本営業所 〒861-4101 熊本市南区近見8丁目14-66  
TEL (096) 358-4011 FAX (096) 358-4014

鹿児島営業所 〒891-0113 鹿児島市東谷山1丁目73-13  
TEL (099) 266-2960 FAX (099) 266-2962

沖縄営業所 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3丁目9-1(勢理客産業ビル4F)  
TEL (098) 870-8782 FAX (098) 870-8652

ご用命は